



浜小だより

令和6年10月31日

11月号 横浜市立浜小学校
校長 青木 圭介

《学校教育目標》相手の考えや気持ちを大切に、互いに高め合う浜の子

子どもたちを交通事故から守る

校長 青木 圭介

今年は秋の深まりを感じにくい気候が続きました。それでも11月を迎え、色づく樹木が目を楽しませてくれるようになりました。1年間の折り返しを過ぎた学校では、宿泊体験学習や校外学習に出かける機会が多くなり、普段と違う体験を通して学びを深めています。創立80周年を迎える今年、11月11日には子どもたちの手作りの80周年記念式典を開催し、学校の歴史を振り返りながら80周年をお祝いすることになっています。

さて、登下校や日常の生活で子どもたちが利用する地域の道路にも、狭いところや交通量が多いところがあり、継続した事故防止の取り組みが欠かせません。登校時には、保護者の皆様、地域の皆様、ボランティアの「見守り隊」の方が子どもたちの安全のためご尽力いただいております。感謝申し上げます。また、スクールゾーン対策委員会では、委員の皆様が通学路を実際に歩いて点検して作成していただいた危険箇所の要望書を関係機関、地域の皆様と協議(書面による)し、ハード面からの交通安全対策を進めていただいております。

小学生の交通事故は、歩行中の事故が最も多いこと、特に学年が低いほど歩行中の事故が多く学年が高くなると自転車乗用中の割合が高くなること、原因としては飛出しが多いこと等が言われています。(「政府広報オンライン」より)

学校では先日、交通安全教室を開きました。磯子警察交通課等の関係機関の皆様、PTAの皆様にご指導とご協力をいただきました。1年生は、道路の安全な歩行の仕方や道路における様々な危険についてお話をうかがった後、校庭に設置した模擬道路を実際に歩きながら、道路の渡り方や歩道上に障害物がある時の対応などを練習しました。3年生は、正しい自転車の乗り方について学びました。自転車は車両の仲間であること、万一自転車で事故を起こすと、自分だけでなく周りの歩行者にも怪我を負わせる危険があることなどを学び、整備点検のポイントや安全な乗り方のルールを確認しました。

ご家庭でも交通安全についての子どもたちへの日常的な声かけや自転車乗車時のヘルメットの着用など、ご協力をお願いいたします。

